

東海地方の天候（令和6年4月）

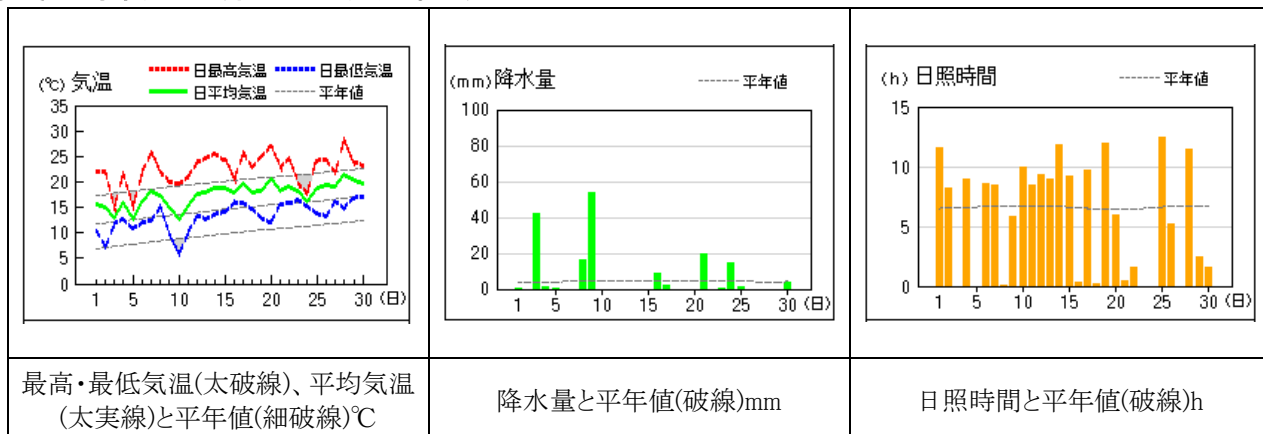
1 概況

中旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、上旬と下旬は、低気圧や前線などの影響で曇りや雨の日が多くなりました。このため、月降水量は多く月間日照時間は少なくなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温はかなり高くなり、平年差が+2.6℃と1946年の統計開始以降、第1位の高温となりました。

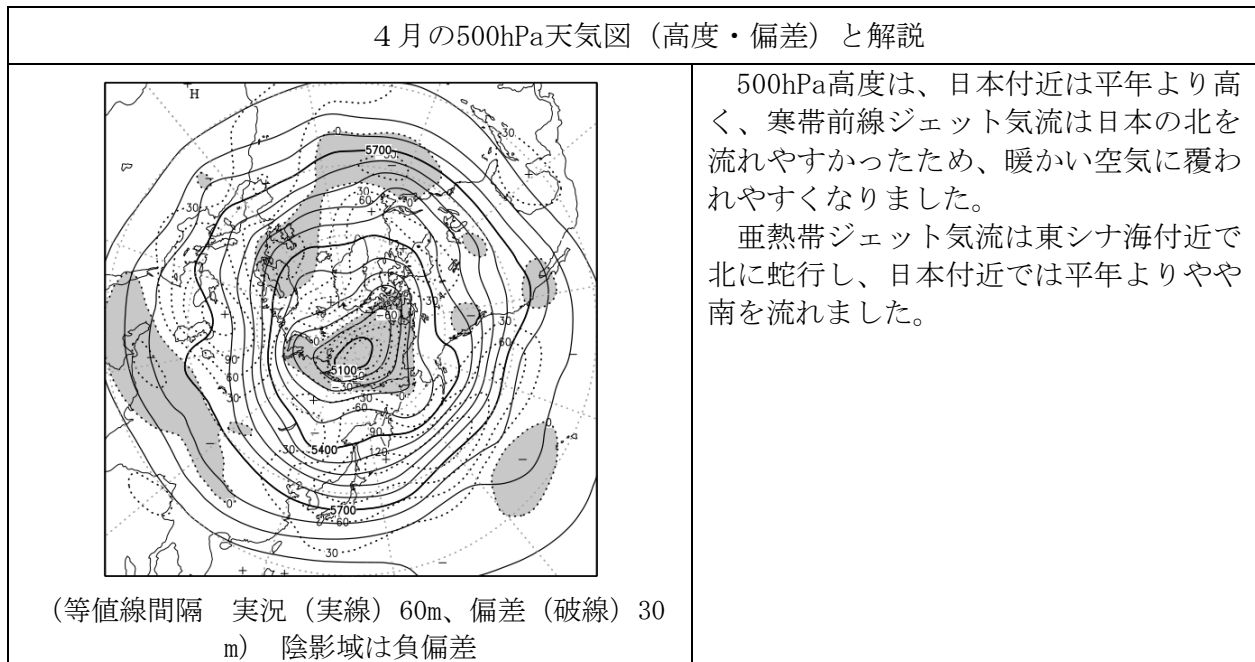
月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「少ない」となりました。

旬ごとの概況	
上旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所がありました。このため、旬降水量は多く旬間日照時間は少なくなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、気温はかなり高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「多い」、日照時間は「少ない」となりました。</p>
中旬	<p>旬の後半に気圧の谷や湿った空気の影響で雨が降り大雨となった所もありましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、旬降水量は少なく旬間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温はかなり高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「少ない」、日照時間は「多い」となりました。</p>
下旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。このため、旬間日照時間はかなり少なくなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、旬平均気温はかなり高くなりました。</p> <p>旬の平均気温は「かなり高い」、降水量は「平年並」、日照時間は「かなり少ない」となりました。</p>

参考 時系列図（名古屋地方気象台）



2 大気の流れの特徴



3 各地の気象台・特別地域気象観測所の実況

地点名	平均気温(平年差)		階級	降水量(平年比)		階級	降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		階級
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
静岡	17.6	(+2.4)	+*	210.0	(95)	○	10	152.9	(81)	—
浜松	17.6	(+2.6)	+*	237.5	(133)	+	11	163.3	(82)	—
御前崎	17.1	(+2.4)	+*	189.0	(94)	○	14	152.8	(76)	—
三島	16.8	(+2.2)	+*	154.5	(101)	○	13	161.0	(88)	○
石廊崎	16.9	(+2.0)	+*	234.5	(154)	+	16	159.5	(83)	—
網代	16.3	(+1.8)	+*	197.5	(117)	+	13	143.4	(81)	—
名古屋	17.5	(+2.9)	+*	166.5	(131)	+	10	172.5	(86)	—
伊良湖	16.9	(+2.6)	+*	170.5	(123)	+	10	172.4	(86)	—
岐阜	17.6	(+3.1)	+*	211.0	(130)	+	10	181.8	(91)	—
高山	13.6	(+3.9)	+*	154.0	(124)	+	11	180.3	(104)	○
津	16.8	(+2.6)	+*	229.5	(178)	+*	12	150.0	(78)	—*
上野	16.0	(+3.3)	+*	128.5	(123)	+	10	142.6	(82)	—
尾鷲	16.6	(+1.9)	+*	303.5	(103)	○	12	131.7	(69)	—*
四日市	16.2	(+2.9)	+*	225.0	(146)	+	11	160.3	(84)	—
東海地方	----	(+2.6)	+*	-----	(125)	+	--	-----	(84)	—

注) 1. 平年値は1991～2020年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+ : 高い (多い) ○ : 平年並 - : 低い (少ない)

各階級の区分値は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1991～2020年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には以下のように表現できる。

かなり高い (多い) かなり低い (少ない)

3. 値の横に) や] がある場合は、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。) 付きの値（準正常値）は通常のものと同様に扱うことができる。]付きの値（資料不足値）については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にするとともに、階級についても値と同様の品質であることに留意して使用されたい。なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

4 令和6年(2024年)4月の順位更新表

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃ (西暦年)	開始年	平年値 ℃
1	岐阜	17.6	+3.1	17.3 (1998)	1883	14.5
	名古屋	17.5	+2.9	17.2 (1998)	1891	14.6
	上野	16.0	+3.3	15.7 (1998)	1937	12.7
	伊良湖	16.9 =	+2.6	16.9 (1998)	1947	14.3
	浜松	17.6	+2.6	17.3 (1998)	1883	15.0
	御前崎	17.1	+2.4	16.9 (1998)	1932	14.7
	静岡	17.6	+2.4	17.1 (1998)	1940	15.2
	三島	16.8	+2.2	16.7 (2018)	1931	14.6
	石廊崎	16.9	+2.0	16.7 (1998)	1940	14.9
2	高山	13.6 =	+3.9	13.7 (1964)	1900	9.7
	津	16.8	+2.6	16.9 (1998)	1890	14.2
	網代	16.3 =	+1.8	16.7 (2018)	1938	14.5
	四日市	16.2	+2.9	16.4 (1998)	1967	13.3
3	尾鷲	16.6	+1.9	17.2 (1998)	1939	14.7

参考資料 平年並の範囲(東海地方)

4月	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
上旬	-0.3 ~ +0.3℃	44 ~ 118%	86 ~ 117%
中旬	-0.7 ~ +0.7℃	65 ~ 115%	87 ~ 115%
下旬	-0.6 ~ +0.5℃	65 ~ 141%	88 ~ 113%
月	-0.4 ~ +0.4℃	89 ~ 111%	93 ~ 108%

資料の解説

- ・当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1991~2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めています。また、値が1991~2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現します。